



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 東京汽船株式会社  
 コード番号 9193 URL <http://www.tokyokisen.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 宏之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼経理部長 (氏名) 佐藤 晃司  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 045-671-7713

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	6,155	△2.2	499	△18.3	650	△18.1	552	△7.2
28年3月期第2四半期	6,295	△0.8	611	89.1	793	63.2	594	27.1

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 424百万円 (△33.7%) 28年3月期第2四半期 640百万円 (37.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	55.48	—
28年3月期第2四半期	59.78	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	25,647	19,622	73.4
28年3月期	25,504	19,469	73.4

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 18,829百万円 28年3月期 18,711百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	27.00	27.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	23.00	23.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,338	△2.0	795	△2.6	1,022	△14.1	885	△9.9	89.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	10,010,000 株	28年3月期	10,010,000 株
29年3月期2Q	59,364 株	28年3月期	59,364 株
29年3月期2Q	9,950,636 株	28年3月期2Q	9,951,730 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
（4）追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（セグメント情報等）	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、年初からの円高基調に加え中国や資源国の景気減速を受け輸出は減少いたしました。また、雇用・所得環境は改善したものの実質賃金上昇までにはいたらず、天候不順も個人消費に悪影響を及ぼし、景気低迷が継続しております。

当社グループの主たる事業である曳船事業を取り巻く状況につきましても、輸出入の低迷に加え、コンテナ船各社の輸送効率化による運航船舶の削減も影響し、東京湾への入出港船舶数は漸減傾向が続いております。

このような経済環境のなかで、当社グループは総力を上げて業績向上に努めましたが、売上高は前年同期に比べ140百万円減収の6,155百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

利益面では、昨年から続く原油安により燃料費は減少しましたが、売上減少に加え、人件費や減価償却費等の固定費が増加し、営業利益は499百万円（前年同期比18.3%減）、経常利益は持分法による投資利益が減少したこともあり650百万円（前年同期比18.1%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、曳船の売却益（固定資産売却益）が増加しましたが552百万円（前年同期比7.2%減）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりです。

曳船事業

曳船事業は、横浜川崎地区における作業対象船舶は、平成27年8月からの強制水先制度の規制緩和の影響でコンテナ船やバルカー船を中心に減少したことに加え、燃料油価格の下落により燃料油価格調整金の適用水準が下がり減収となりました。また、東京地区では前年同期並みとなり、横須賀地区ではタンカーやLNG船の入湾数が減少しエスコート作業が減収となりました。千葉地区では、プロダクトタンカーは増加したものの、LNG船や鉾石船などの大型船の入港数の減少が影響し減収となりました。

また、その他部門では前期第4四半期から千葉県銚子沖洋上風力発電実証研究事業向け交通船の運航開始があり増収となりました。

この結果、曳船事業セグメントの売上高は4,436百万円（前年同期比0.4%減）となり、燃料費は減少しましたが、人件費や減価償却費等の固定費が増加し、営業利益は450百万円（前年同期比6.3%減）となりました。

旅客船事業

旅客船事業は、4月後半からゴールデンウィークにかけての荒天や、8月から9月の度重なる台風の到来により、横浜港における観光船部門、久里浜・金谷間を結ぶカーフェリー部門ともに減収となりました。

この結果、旅客船事業セグメントの売上高は1,362百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

営業利益は、燃料油価格の下落とカーフェリー部門の平日減便実施による燃料費の減少がありましたが、売上減少が響き58百万円（前年同期比55.3%減）となりました。

売店・食堂事業

売店・食堂事業は、旅客船事業同様に天候不順による影響に加え、旗艦店の金谷センターで団体客の利用低迷が続いており、売上高は前年同期に比べ53百万円減少し356百万円（前年同期比13.0%減）となり、8百万円の営業損失（前年同期は0.3百万円の営業利益）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べ142百万円増加し25,647百万円となりました。これは主に、現金及び預金が長期預金から一年以内の定期預金への振替で600百万円増加したことを含め1,124百万円増加し、受取手形及び売掛金が78百万円減少し、関係会社株式が136百万円減少したことによるものです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ10百万円減少し6,024百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が36百万円減少し、長期借入金も36百万円減少し、その他流動負債が61百万円増加したことによるものです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ153百万円増加し19,622百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益が552百万円計上され、剰余金の配当を268百万円実施したことに加え、為替換算調整勘定が166百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と同様に73.4%となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現在までのところ概ね当初予想の範囲内で推移しており、通期の連結業績につきましては、平成28年5月16日に公表いたしました発表数値から修正しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積り変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

### （4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,649,851	10,774,014
受取手形及び売掛金	2,299,881	2,221,608
商品	20,922	21,905
貯蔵品	68,398	71,261
繰延税金資産	90,271	86,966
その他	355,215	227,774
貸倒引当金	△3,475	△3,505
流動資産合計	12,481,066	13,400,024
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	324,287	313,413
船舶（純額）	5,409,122	5,417,560
土地	1,435,628	1,435,628
その他（純額）	403,148	409,606
有形固定資産合計	7,572,185	7,576,209
無形固定資産	39,768	45,898
投資その他の資産		
投資有価証券	1,733,320	1,713,586
関係会社株式	2,511,331	2,374,725
繰延税金資産	194,082	185,875
その他	1,059,591	448,955
貸倒引当金	△86,958	△98,179
投資その他の資産合計	5,411,367	4,624,963
固定資産合計	13,023,321	12,247,071
資産合計	25,504,387	25,647,095

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	897,298	860,925
短期借入金	1,562,832	1,567,832
未払法人税等	260,376	231,367
役員賞与引当金	40,000	20,000
賞与引当金	211,226	214,279
その他	231,378	292,635
流動負債合計	3,203,111	3,187,039
固定負債		
長期借入金	385,159	348,743
役員退職慰労引当金	433,011	445,561
特別修繕引当金	398,370	387,112
退職給付に係る負債	1,379,168	1,404,667
繰延税金負債	182,569	191,589
資産除去債務	3,021	3,042
負ののれん	30,852	26,105
その他	19,959	30,471
固定負債合計	2,832,111	2,837,293
負債合計	6,035,223	6,024,332
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	500,500	500,500
資本剰余金	75,357	75,357
利益剰余金	17,990,351	18,273,758
自己株式	△42,689	△42,689
株主資本合計	18,523,518	18,806,925
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	216,871	202,974
為替換算調整勘定	102,621	△63,698
退職給付に係る調整累計額	△131,528	△116,777
その他の包括利益累計額合計	187,964	22,498
非支配株主持分	757,681	793,338
純資産合計	19,469,164	19,622,762
負債純資産合計	25,504,387	25,647,095

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	6,295,209	6,155,065
売上原価	4,699,365	4,641,216
売上総利益	1,595,844	1,513,848
販売費及び一般管理費		
販売費	144,284	135,553
一般管理費	839,852	878,553
販売費及び一般管理費合計	984,137	1,014,107
営業利益	611,707	499,741
営業外収益		
受取利息	4,940	2,947
受取配当金	15,370	27,421
負ののれん償却額	6,079	4,746
持分法による投資利益	134,860	98,500
その他	35,782	29,672
営業外収益合計	197,033	163,287
営業外費用		
支払利息	14,495	12,296
その他	738	601
営業外費用合計	15,234	12,898
経常利益	793,506	650,129
特別利益		
固定資産売却益	86,318	176,259
特別利益合計	86,318	176,259
税金等調整前四半期純利益	879,824	826,389
法人税、住民税及び事業税	206,030	215,971
法人税等調整額	25,896	20,356
法人税等合計	231,926	236,328
四半期純利益	647,897	590,061
非支配株主に帰属する四半期純利益	52,970	37,987
親会社株主に帰属する四半期純利益	594,927	552,073



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	647,897	590,061
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24,002	△13,542
退職給付に係る調整額	△1,152	14,751
持分法適用会社に対する持分相当額	18,194	△166,319
その他の包括利益合計	△6,960	△165,110
四半期包括利益	640,937	424,950
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	589,247	386,608
非支配株主に係る四半期包括利益	51,690	38,342

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計 (注)
	曳船事業	旅客船事業	売店・食堂事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,454,025	1,431,687	409,496	6,295,209	—	6,295,209
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,082	31,084	2,203	35,370	△35,370	—
計	4,456,108	1,462,772	411,699	6,330,580	△35,370	6,295,209
セグメント利益	480,362	130,967	377	611,707	—	611,707

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計 (注)
	曳船事業	旅客船事業	売店・食堂事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,436,213	1,362,792	356,058	6,155,065	—	6,155,065
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,210	28,236	2,165	32,611	△32,611	—
計	4,438,424	1,391,028	358,223	6,187,677	△32,611	6,155,065
セグメント利益又は損失(△)	450,152	58,579	△8,990	499,741	—	499,741

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。